

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	どんぐり学園 河南校		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 16日		～ 2026年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが通所を楽しみにしている	子どもの成長に関して一番大切なことだと考えています。毎日楽しみに通園できる場所、自分の居場所と感じられるようにしています。子どもたちに選択肢を作ってご自身に選べるように、表情や非言語からも読み取るよう努めています。職員間でその日の様子を共有し、子どもたちにとってよりよい環境につなげています。	今よりさらに子どもたちや保護者様が楽しみに通園してもらえるよう、もっと保護者様とも密にお話を聞き、職員間で情報の共有に時間を使っています。
2	子どもの活動スペースが十分に確保されている	1階と2階にプレイルームがあり、十分な広さを確保しています。またおもちゃや遊具は必ずその都度片付ける、片付け場所も戻しやすいように工夫しています。	コロナ禍で培ったものを生かして、衛生面や整理整頓を徹底していく。より安心、安全の環境作りを心がけていきたいと思えます。
3	子どもや保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮がされている	日々の連絡帳に分かりやすい言葉で丁寧にその日の様子を伝えることを重視しています。また定期懇談の他に、送迎時にも何かお困りごとがあっても気軽に伝えることのできる関係性を築けるように努めています。	今後も職員全員が保護者様に寄り添うことができるような体制を心がけていきたいと思えます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていない	保護者様からの個別相談に対するアドバイスや助言、寄り添った対応を努めていますが、保護者様対象の研修会等、全体での取り組みはできていません。	専門的なペアレントトレーニングの実施は難しいかと思えますが、家族支援の観点から今後も寄り添った支援を行い、一緒に考えていく、成長していくことを目標にしていきます。情報提供についてはしっかりと情報発信できるよう仕組みづくりに取り組んでいきます。
2	専門職による支援	作業療法士、言語聴覚士、心理的支援など専門職による直接支援が望ましいが、現段階では人材確保することができていません。	必要な人材確保ができるまでは、今いる職員が研修や実務を重ねて、専門性につながる支援を取り組んでいくようにしていきます。
3	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか周知されていない	学園だよりに定期的に訓練実施の様子を掲載しているが、見える化が不十分で、発達支援に関する活動内容に寄った情報発信になってしまっています。	訓練の実施予定や実施報告などを保護者様に周知し、見える化を図ってきたい。また保護者様と一緒に考え、訓練に参加をしていただくような機会も作ってきたい。